

# 女性の社会進出支援團

F1班

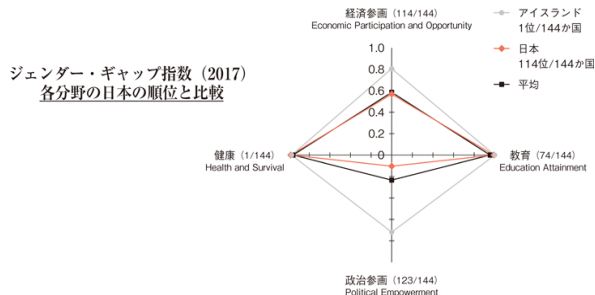
## 1. 動機・仮説

### 【動機】

日本は世界の国々と比較するとジェンダーギャップ指数が低いことがわかる。(表1)だが、決して日本が全く対策をとっていないわけではなく、例を出すと、男女雇用機会均等法などの法の制定である。しかし実際には、他国より政治・経済面で男女平等が劣っていることがわかる。

### 【仮説】

政治・経済面で男女平等に関する優れた対策が取られている国の例を、日本にも取り入れたら、「本当の意味」での男女平等が進む。



## 2. 本論1 - 参考とした国 -

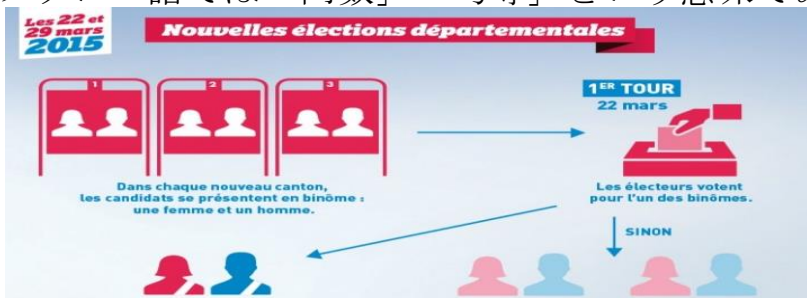
### ①フランス

理由\_1. フランスの女性が参政権を獲得したのは日本とほぼ同時期である

2. 国会議員の女性比率が1970年代前半まで1%台である

〈具体的な政策〉

パリテ法…2000年に制定され、フランスでは2015年より県議会での採用が行われた。パリテ法とは「県議会においての男女ペアでの立候補」という内容を意味し、フランス語では「同数」「均等」という意味である。



### ②アイスランド

理由\_1. ジェンダーギャップ指数が一位

\_2. 国会議員の女性比率12位 (2016年時点)

\_3. 女性の就業率が80%

〈具体的な政策〉

クオータ制度…議員や会社役員などの女性の割合を、あらかじめ一定数に定めて、女性を積極的に起用する制度。アイスランドでは2010年に、政府が「企業役員4割を女性にする」と決定づけた。

## 4. まとめ・結論

日本では次のような法・制度を定めることが、必要であると考えられる。

- ①議員・企業役員女性の割合を4割以上にする。
- ②議員選挙の際、男女一人ずつのペアによる出馬

## 5. 結果・考察

①②によってもたらされる効果は

- 女性の発言力が高まるのが最も大きい



政治・経済面においては、**男女双方の意見が取り入れられた法が制定されるだろう。**

- 日本の女性の政治に対する意識も向上する



数値として女性の議員数が増える



**政治・経済面においてのジェンダーギャップ指数が現在より確実に上がる。**

それらによって、同時に女性の社会進出も見込まれる。

## 3. 本論2

### ①パリテ法

- メリット： (i) 女性の政界進出の促進  
(ii) 議会における女性の発言力が高まる  
(iii) 男女双方の意見が取り入れられた法の制定

デメリット： (i) 以前より男性の被選挙権が制限される

### ②クオーター制

- メリット： (i) 女性の政界進出・社会進出の促進  
(ii) 社会における女性の発言力が高まる

デメリット： (i) 女性の社会進出により、出生率が低下  
(ii) 法のような効果を発揮しない

## 参考文献

- <https://images.app.goo.gl/CQNVvupqcyMGNu5c9> <https://images.app.goo.gl/PJkKHYo6KPHdkXd8>  
<https://images.app.goo.gl/RpJA1T3eDtaP9q5q8> [http://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/201906/201906\\_04.html](http://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/201906/201906_04.html)  
<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/worldyouth6/html/no2-5-3.html>  
女性のいない民主主義 前田健太郎著 岩波新書 <https://images.app.goo.gl/TJHA63JvuzwvrDv67> <https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/160/>  
<https://www.manegy.com/news/detail/1024>  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/kimuramasato/20161026-00063712/>